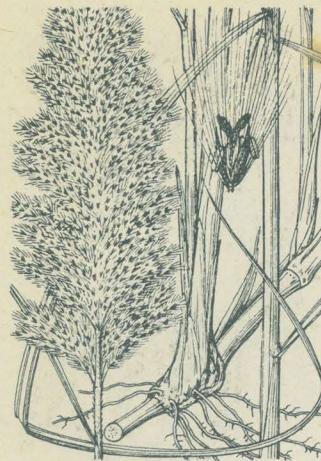
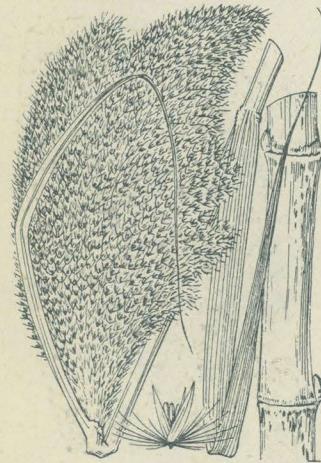


第2470圖



ほもの科

第2471圖



ほもの科

第2472圖



ほもの科

わせをばな
一名 はますすき

Saccharum spontaneum L.

瀬海ノ砂地ニ生ズル大形ノ多年生草本ニシテ叢生シ、稍粗大ナル短キ圓柱形ノ根莖ヲ分チテ盛シ繁殖シ、高サハ1m以上ニ達ス。稈ハ直立シ平滑ナル圓柱形ヲ成シ單一ニシテ實セリ。葉ハ互生シ狹線形ニシテ長ク、末ハ漸次ニ狹窄シテ細長ク尖リ硬質ニシテ下部ハ長鞘ヲ成ス。夏月、稈頂ニ長サ30cm許ノ瘦長ナル圓錐狀花穗ヲ直立シ、主軸ハ太クシテ白軟毛ヲ密生シ、側生梗ハ斜上シテ稍密ニ無柄小穂ヲ其小軸上ニ互生ス。小穂ハ脱落易ク長サ4mm許、披針形ヲ成シテ芒ナク、基部ニ多數ノ白色長軟毛ヲ有シシテ褐色ヲ呈シ、内外二片ノ穎ハ軟革質ニシテ褐色ヲ呈シ、内外二片ノ穎ハ白色膜質ヲ成ス。根莖竜ニ稈ニハ多少ノ甘味ヲ含ミさたうきび(甘蔗)屬ノ一種タルコトヲ表セリ。和名ハ其花穂早ク出ヅルヲ以テわせ尾花ト云ヒ、海濱ニ生ズルヲ以テ演すすきノ稱アリ。

さたうきび(甘蔗)

一名 かんしょ・かんしょう・かんしゃ

Saccharum officinarum L.

今ヨリ二百年前ノ享保年間ニ琉球ヨリ内地ニ傳ヘシ多年生ノ大禾本ニシテ、中實ニシテ節アル地下莖ヲ有ス。稈ハ叢生シ一分枝セズシテ直立シ、粗大ナル圓柱形ヲ成シテ中實ニシテ節アリ、高サ2-4m許、直徑2-4cm許アリ、平滑ニシテ光澤ヲ有シ、淡緑色。黃色或ハ紅紫色ヲ呈ス。葉ハ數多クシテ二列的ニ互生シ、大形ニシテ廣線形ヲ成シ上部漸次ニ狹窄シテ長ク尖リ、幅1.5-5cm許アリ、中脈ハ剛ク厚クシテ裏面ニ隆起シ、葉鞘ハ長クシテ稈ヲ包ミ、小舌ハ甚ダ短シ。圓錐狀花穗ハ稈末ナル長梗ノ頂ニ在リ、大形ニシテ長サ50-60cm許アリ、多ク分枝シ密ニ無數ノ穎花ヲ含ケテ灰白色ヲ呈ス、小穂ハ細小ニシテ兩性ノ一花ヨリ成リ對称シテハ有柄一ハ無柄ナリ、每花其基部ニ輪生絲毛ヲ具ヘ穎果成熟ノ時小枝ヲ離ル。穎ハ内外ノ二片アリ、略同長ニシテ長橢圓狀披針形ヲ成シテ尖リ芒無シ、稈ハ多クハ一片アリテ穎ヨリ短ク卵狀披針形ナリ。鱗被ニ。雄蕊三。子房ニハ二花柱アリテ上部ハ羽毛狀ヲ成シ暗紫色ヲ呈ス。本種ノ原產地ハ印度ナレドモ今ハ廣く世界ノ各地ニ擴マリテ栽培セラレ其品種モ一ナラズ、何レモ稈中ノ糖汁ヲ掬リテ砂糖ヲ製ス、即ち最も顯著ナル有用植物ノ一ナリ、從來我邦内地ニ栽培セラレシ者ハ氣候ノ關係ヨリ綠色ノ小形品ナリシガ臺灣ニハ品種多ク又大形品アリ。和名ハ砂糖黍ノ意ナリ、かんしょハ甘蔗ノ音ヲ長ク引キテ呼ビジナリ。

すすき(芒) 一名 かや

Miscanthus sinensis Anderss.(=*Saccharum polydactylon* Thunb. var. *B.*
Thunb.; *S. japonicum* Thunb. p. p.)

諸州ノ山野到處ニ多ク生ズル大形ノ多年生草本ニシテ叢生シ往々大群ヲ成シて山面或ハ原頭ヲ被フコト多ク、高サ100-150cm許アリ。根莖ハ短クシテ多脚的ニ分枝シ硬質ニシテ節緊密ナリ。稈ハ直立シ節アリ圓柱形ニシテ實シ綠色無毛ナリ。葉ハ互生シ細長ニシテ圓柱形ヲ呈シ漸尖シ邊緣特ニ細齒アリテ纏織シ綠色ニシテ中脈白シ、下ハ長鞘ヲ成シテ稈ヲ包ミ通常無毛ナレドモ又時ニ其下部ノ者ニ毛アリ。秋季ニ至テ稈頂ニ大ナル花穂ヲ成シテ瘦長ナル十數枚ヲ短キ中軸ヨリ岐テ黃褐色又ハ紫褐色ヲ呈ス。花穂ノ各節ニ二箇ノ小穂ヲ有シハ無柄ニシテハ短柄アリ。小穂ハ長サ3.5mm許、披針形、下部ニ白毛アリテ長サ小穂ノ1.5倍ニ達ス。内外ノ二顎ハ洋紙質ニシテ内外ノ穎ハ膜質ニシテ稍紫綠色ヲ帶ビ、内穎ハ先端深クニ岐シ、小穂ニ三倍長ナル芒又有ス。其變種ニシテすすき・いとすすき。たかのはすすき等ノ異品アリ。花穂ヲばな(尾花)ト云ヒ秋の七種ノ一ニ算ヘラル。昔時ヨリ其葉ヲ以テ屋ヲ葺キ普通ニカヤフキやねト稱ス、又花葉ヲ觀賞ノ用トシ其花穂ノ大ナル者ヲ特ニニますほのはすすき(十寸穂の芒)ト呼ブ。和名すすきハすぐしく立タル木(草)ノ意ト謂ハル又神樂ニ用ウル鶴物用ノ木即チナズノ木ノ意ト謂ヘ如何、又かやハ刈屋ノ意ニテ刈リテ屋ヲ葺ク物ノ意ナラント謂ヒ、又かやハ刈屋や上ノ意やハ屋ニテ屋根ヲ葺クヲ以テ云フト謂ヘリ。薄・蒼・菅ヲニシテ二種ニ用ウルハ共ニ非ナリ、薄・蒼ハ單形容詞ニシテ草名ニ非ラズ、蒼・菅ハ他草ノ名ナリ。

むらさきすすき
古名 ますうのすすき

Miscanthus sinensis Anderss.form *purpurascens* Makino.(=*M. sinensis* Anderss. var. *purpurascens*
Hook. fil.; *M. purpurascens* Anderss.)

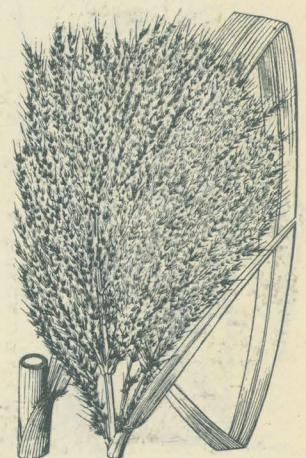
山地ニ生ズル大形多年生草本ニシテ叢生シ往々群ヲ成ス。元來すすきノ一變種ト考定セラレシト雖モ、能ク普通品ト連続シ其間截然タル境界ナクレトモ概シテ高地ノ品ハ之レニ屬セリ。根莖ハすすきト相同ジテ短クシテ多脚的ニ分岐シ硬質ニシテ密接セル節ヲ有ス。稈ハ直立シ圓柱形ニシテ中實ス。葉ハ狹長ナル線形ニシテ末漸尖シ邊緣粗糾シ、綠色ニシテ中脈ハ白花色ヲ成シ十枝内外ヲ短キ中軸ヨリ分ツ。枝穗軸上ノ各節ニ二箇宛ノ小穂ヲ有シハ長梗、一ハ短梗ヲ具フ。小穂基部ノ毛ハ紫色ヲ帶ビ、外穎ハ外部ニ微毛アリ、内穎ト共ニ洋紙質ヲ成シ、内外ノ穎ハ膜質ニシテ内穎ハ先端二岐シ其中間ニ長サ小穂ノ二倍ニ達スル芒ヲ有ス。和名紫芒ハ其穂色ニ由テ云ヒ、ますうのすすきハまそほのすすきニテ赤キすすきノ意、即チ其穂色ニ基キシ稱ナリ、彼ノますほ(十寸穂)のすすきハ此レトハ別ナリ(すすきノ條参照)。

第2473圖



ほもの科

第2474圖



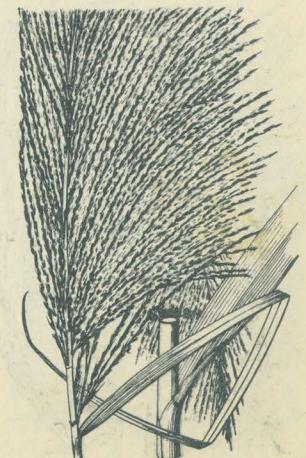
ほもの科

はぢぢやうすすき
Miscanthus sinensis Anderss.
var. *condensatus* Makino.

(=*M. condensatus* Hack.)

主トシテ暖地ノ海邊ニ生ズル半常綠或ハ非常綠ノ大形多年生草本ニシテ叢生シ概形すすきニ似テ一般ニ肥大ナリ、高サハ1-2m許アリ。稈ハ直立シ圓柱形ニシテ中實シ粗大ナリ。葉ハ互生シ廣線形ニシテ闊キ者ハ其幅2cm許アリ、白綠色ニシテ中脈白ク、葉緣ノ縫澁殆ンド無キ者アリ、下ハ長鞘ヲ成シ稈ヲ包ム。花穗ハ稈頂ニ出デテ上向シ密集シ、枝穗・花軸・小梗皆肥大ナルヲ以テ容易ニすすきト識別シ得ベシ、然レドモ内地ニ入ルニ從ヒ漸次ニすすきニ連絡シ花穗モ漸次ニ散漫シ葉モ次第ニ狹長ト成リテ葉緣ノ縫澁度モ加ハリ葉色モ綠色ト成リ其兩者ノ區別判然セザルニ至ル事ハ大ニ注意スペキ事項ニ屬ス。予ノ之レヲすすきノ一品ト認ムルハ此理由ニ基ク。秋月開花シ穎稃ノ狀すすきト同ジ。八丈島ニテハまぐさト稱シ栽植シテ牛馬ノ飼料トス。和名八丈芒ハ八丈島ニ在ルヲ以テ名ク。

第2475圖



ほもの科

ときはすすき

一名 かんすすき・ありはらすすき

Miscanthus japonicus Anderss.(=*Saccharum polydactylon* Thunb. *α.**Thunb.*; *S. japonicum* Thunb. p. p.)

我邦中部ヨリ以西ニ瓦リ暖地諸州ノ原野山足或ハ近海地ニ生ズル大形ノ多年生常綠草本ニシテ叢生シ株ヲ成シ往々群生シ、概形すすきニ似タリト稈頗ル壯大ナリ。根莖ハ短硬ニシテ緊密ニ分岐ス。高サ2m内外ニ及ビ直立ス。葉ハ互生シ長大ニシテ廣線形ヲ成シ末ハ漸尖シ葉緣縫澁シ質硬ク、下部ハ長鞘ヲ成シテ稈ヲ包メリ。花穗ハ稈頂ニ直立シ長椭圓形ヲ呈シ長サ40cm内外アリテ密ニ無數ノ花ヲ育ケ、真直ナル中軸ハ長クシテ全穗ノ中央ヲ串ヌキ多數ノ枝穗ヲ分テリ。小穂ハすすきヨリ小形ニシテ長サ3mm許ニ過ギズ二箇宛枝穗軸ニ着キ一ハ長柄ヲ一ハ短柄ヲ具ヘ、總苞毛短クシテ小穂ト略同長柄ヲ有ス。小穂ニハ内外ノ二顎、内外ノ二稃アリテ内稃ニ芒ヲ有セリ。雄蕊三。七月八月ノ候ニ開花シ紫褐色ヲ呈ス。和名ハ常盤芒ニシテ常綠葉ヲ有スル故ニ云ヒ、寒芒ハ其葉冬寒中ニ枯レザルヲ以テ云フ。在原芒ノ在原芒ハ蓋シ在原業平ノ姓ヲ執リ此優雅ナル花穂ノ名ト爲セシナラン。